

飯能市水道事業中期経営計画（平成28～32年度）の事業評価について

(1) 計画期間における目標指標

(ア) 施設利用率

指標名	現況				目標
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
施設利用率	51.9%	51.8%	51.6%		66.4%
指標の考え方	日常給水に要する各浄水場施設の稼働率				

※浄水施設等再構築事業の完成後、小岩井浄水場の稼働率をあげる。

(イ) 有収率

指標名	現況				目標
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
有収率	85.7%	85.6%	85.3%		90.0%
指標の考え方	有収水量／給水量（配水量）				

※漏水修理範囲の見直し等により、漏水の早期発見と漏水量の抑制に努め、有収率の向上を図る。

(ウ) 管路耐震化率

指標名	現況				目標
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
管路耐震化率	22.9%	23.7%	24.6%		25.0%
指標の考え方	管路延長に対する耐震化				

※旧市街地の老朽管布設替工事等で老朽管を耐震管へ布設替えることにより、管路の耐震化を図る。

(エ) 市民満足度

指標名	現況				目標
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市民満足度	—	—	—		43.5%
指標の考え方	市民意識調査(H31予定)による「満足」、「やや満足」の割合				

※水の安定供給及び上水道の整備を進め、令和元年度に予定される市民意識調査で、市民満足度の5%上昇を目指す。

(2) 主要な建設改良事業の進捗状況

実施事業①

事業名	ア 取水・浄水・配水施設等整備事業				総事業費	1,047,456千円
実績値 (単位:千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	計
	266,457	169,236	169,711			605,404
総事業費に対する 進捗割合	25.4%	16.2%	16.2%			57.8%

◆事業内容別実績値(単位:千円)

事業内容	総事業費	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度
取水場整備事業	120,000	49,680	41.4%	48,060	40.1%				
浄水場整備事業	441,156	180,813	41.0%	72,900	16.5%	160,909	36.5%		
配水場整備事業	201,700	15,120	7.5%	48,276	23.9%	8,802	4.4%		
ポンプ場整備事業	284,600	20,844	7.3%	0	0.0%	0	0.0%		
計	1,047,456	266,457	25.4%	169,236	16.2%	169,711	16.2%		

◆平成30年度の取り組み(決算額)

取水場整備事業	—	—
浄水場整備事業	小岩井浄水場沈殿池汚泥掻寄機更新工事(H29、H30継続)	156,600千円
配水場整備事業	坂石配水場ほか配水ポンプ等交換工事	8,802千円
ポンプ場整備事業	—	—

◆令和元年度の予算(予算額)

取水場整備事業	—	—
浄水場整備事業	小岩井浄水場ほか遠方監視装置等更新工事	151,371千円
	小岩井浄水場高感度濁度計ほか更新工事	11,385千円
配水場整備事業	—	—
ポンプ場整備事業	美杉台ポンプ場受電設備更新工事	97,416千円
	有間増圧ポンプ場非常用発電機更新工事	11,979千円

計 272,151千円 26.0%

◆事業の進捗状況

評価	小岩井浄水場沈殿池汚泥掻寄機更新工事は、平成29年度、平成30年度の継続事業で実施した。 浄水場、配水場、ポンプ場など更新時期を迎える浄配水施設の主要な整備は、今後も計画的に更新していく。
----	---

評価の表示内容 ○計画を上回る ○計画どおり △一部計画を変更して実施 ×実施できなかった

実施事業②

事業名	イ 老朽管布設替事業(管路耐震化推進事業)				総事業費	1,412,100千円
実績値 (単位:千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	計
	369,582	131,274	279,418			780,274
総事業費に対する 進捗割合	26.2%	9.3%	19.8%			55.3%

◆事業内容別実績値(単位:千円)

事業内容	総事業費	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度
配水管布設替工事 (旧市街地)	588,610	110,429	18.8%	50,252	8.5%	147,766	25.1%		
配水管布設替工事	823,490	259,153	31.5%	81,022	9.8%	131,652	23.2%		
計	1,412,100	369,582	26.2%	131,274	9.3%	279,418	19.8%		

◆平成30年度の取り組み(決算額)

配水管布設替工事 (旧市街地)	東町地内配水管布設工事(608.1m)	87,783千円
	東町地内配水管布設工事(第2工区)(444.1m)	59,983千円
配水管布設替工事	苅生地内配水管布設工事(290.9m)	25,294千円
	平松・川崎地内配水管布設工事(407.9m)	29,851千円
	小岩井地内導送水管布設工事	70,794千円
	上赤工地内減圧弁更新工事(減圧弁1基)	5,713千円

◆令和元年度の予算(予算額)

配水管布設替工事 (旧市街地)	東町地内配水管布設工事(250m)	41,250千円
	東町地内配水管布設工事(第1工区)(315.8m)	57,780千円
	柳町地内配水管布設工事(400m)	57,200千円
配水管布設替工事	双柳地内配水管布設工事(第1工区)(10m)	1,650千円
	双柳地内配水管布設工事(第2工区)(280m)	21,560千円
	飯能地内配水管布設工事(第1工区)(10m)	57,200千円
	飯能地内配水管布設工事(第2工区)(10m)	66,000千円
	川崎・下川崎地内配水管布設工事(300m)	33,000千円
	平戸地内配水管布設工事(平戸橋)(50m)	20,350千円

舗装復旧工事(3,790㎡)54,197千円を含めた合計 410,187千円 29.0%

◆事業の進捗状況

評価	
○	平成30年度は、旧市街地の老朽管布設替えとして、1,052mの布設替えが終了した。これにより全体計画10,514m中、7,903mの布設替えが終了し、進捗割合が75.2%となった。 平成30年度発注の東町地内配水管布設工事(第1工区)315.8mは、埋設物による影響に伴い工期延期を行い、令和元年度に終了する。

評価の表示内容 ○計画を上回る ○計画どおり △一部計画を変更して実施 ×実施できなかった

実施事業③

事業名	ウ 配水管網整備事業				総事業費	545,940千円
実績値 (単位:千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	計
	129,651	149,169	179,723			458,543
総事業費に対する 進捗割合	23.7%	27.3%	32.9%			83.9%

◆事業内容別実績値(単位:千円)

事業内容	総事業費	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度
土地区画整理関連 配水管工事	324,000	52,768	16.3%	60,123	18.6%	75,989	23.5%		
下水道関連 配水管工事	76,720	76,883	100.2%	89,046	116.1%	25,542	33.3%		
配水管布設工事	145,220	0	0.0%	0	0.0%	78,192	53.8%		
計	545,940	129,651	23.7%	149,169	27.3%	179,723	32.9%		

◆平成30年度の取り組み(決算額)

土地区画整理関連 配水管工事	笠縫土地区画整理地内配水管布設工事(第1工区)(77.2m)	9,677千円
	笠縫土地区画整理地内配水管布設工事(第2工区)(284.8m)	20,714千円
	笠縫土地区画整理地内配水管布設工事(第6工区)(193.2m)	12,722千円
	岩沢北部土地区画整理地内配水管布設工事(第1工区)(91.3m)	6,340千円
	岩沢北部土地区画整理地内配水管布設工事(第3工区)(116.4m)	9,288千円
	岩沢南部土地区画整理地内配水管布設工事(第1工区)(60.0m)	2,830千円
	岩沢南部土地区画整理地内配水管布設工事(第3工区)(175.1m)	14,418千円
下水道関連 配水管工事	岩沢北部土地区画整理地内配水管布設工事(第4工区)(139.7m)	11,081千円
	岩沢南部土地区画整理地内配水管布設工事(第4工区)(56.9m)	7,344千円
	岩沢南部土地区画整理地内配水管布設工事(第5工区)(80.8m)	7,117千円
配水管布設工事	線下加治地内増圧ポンプ設置工事(増圧ポンプ2台)	59,648千円
	双柳地区配水管布設工事(第1工区)(402.4m)	18,544千円

◆令和元年度の予算(予算額)

土地区画整理関連 配水管工事	笠縫土地区画整理地内配水管布設工事(410m)	45,100千円
	岩沢北部土地区画整理地内配水管布設工事(480m)	49,500千円
下水道関連 配水管工事	笠縫土地区画整理地内配水管布設工事(30m)	6,930千円
	岩沢南部土地区画整理地内配水管布設工事(460m)	50,270千円

計 151,800千円 27.8%

◆事業の進捗状況

評価	区画整理事業、下水道事業、道路事業の計画に併せて、各事業の工事進捗状況により上水道の工事を実施した。 今後も各事業計画の進捗に併せて工事数が年度で前後するが、着実に配水管網整備を進めていく。
----	--

評価の表示内容 ○計画を上回る ○計画どおり △一部計画を変更して実施 ×実施できなかった

実施事業④

事業名	工 浄水施設等再構築事業				総事業費	682,170千円
実績値 (単位:千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	計
	76,569	227,955	611,606			916,130
総事業費に対する 進捗割合	11.2%	33.4%	89.7%			134.3%

◆事業内容別実績値(単位:千円)

事業内容	総事業費	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度
県水受水場改修工事	407,000			0	0.0%	447,724	110.0%		
送水管布設工事	221,170	76,569	34.6%	227,955	103.1%	163,882	74.1%		
本郷配水場 電気設備更新ほか	54,000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
計	682,170	76,569	11.2%	227,955	33.4%	611,606	89.7%		

◆平成30年度の取り組み(決算額)


県水受水場改修工事	県水受水場電気設備等改修工事	447,724千円
送水管布設工事	緑(仮称)飯能大河原線橋りょう送配水管添架工事(226.8m)	59,940千円
	大河原地内送配水管布設工事(第1工区)(73.8m)	15,048千円
	大河原地内送配水管布設工事(第2工区)(295.1m)	43,373千円
	大河原地内送配水管布設工事(第3工区)(40.0m)	7,484千円
	緑飯能地内送配水管布設工事(第1工区)(326.4m)	99,360千円
	飯能地内送配水管布設工事(第2工区)(254.6m)	38,037千円
本郷配水場 電気設備更新ほか	なし	0千円

◆令和元年度の予算(予算額)

県水受水場改修工事	なし	0千円
	飯能地内送配水管布設工事(326.4m)	248,400千円
本郷配水場 電気設備更新ほか	なし	0千円

36.4%

◆事業の進捗状況

評価	
	県水受水場電気設備等改修工事、飯能地内送配水管布設工事254m、大河原地内送配水管布設工事408mを実施した。 また、(仮称)飯能大河原線の道路整備工事に併せて、送配水管橋梁添架工事226mを実施した。 今後、飯能地内送配水管布設工事を進めていく。

評価の表示内容 ○計画を上回る ○計画どおり △一部計画を変更して実施 ×実施できなかった

実施事業⑤

事業名	才 基幹施設耐震化事業				総事業費	239,708千円
実績値 (単位:千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	計
	50,641	59,724	140,540			250,905
総事業費に対する 進捗割合	21.1%	24.9%	58.6%			104.6%

◆事業内容別実績値(単位:千円)

事業内容	総事業費	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
小岩井取水場 耐震補強工事	73,632	50,641 68.8%				
小岩井浄水場 耐震化工事	166,076		59,724 36.0%	140,540 84.6%		
計	239,708	50,641 21.1%	59,724 24.9%	140,540 58.6%		


◆平成30年度の取り組み(決算額)

小岩井取水場 耐震補強工事	なし	0千円
小岩井浄水場 耐震化工事	小岩井浄水場耐震補強工事	140,540千円

◆令和元年度の予算(予算額)

小岩井取水場 耐震補強工事	なし	0千円
小岩井浄水場 耐震化工事	なし	0千円
計		0千円

◆事業の進捗状況

評価	
	小岩井浄水場の耐震補強工事は、平成29年度、平成30年度の継続事業で実施した。 平成30年度は、高架水槽、急速濾過池、着水井の補強工を実施した。

評価の表示内容 ◎計画を上回る ○計画どおり △一部計画を変更して実施 ×実施できなかった

(3)安全給水対策

カ 水安全対策事業

水安全計画の策定	各浄水場における危害分析を行い、その管理方法や対応措置を定めた水安全計画を策定した。
水質管理計画に基づく水質検査の実施	水質管理計画に従い、定期的に水質検査を実施した。また、水道水が水質基準に適合しており、安全で良好であることをホームページにより周知した。

キ 配水管等維持管理事業

漏水調査の効率的な実施	漏水調査委託を3年間で市内を一巡するよう地区を分けて実施し、漏水の早期発見に努めている。平成30年度は原市場地区及び本郷3号配水地エリアを実施した。
漏水修繕の早期対応	有収率の向上を図るため、平成29年4月1日より専用住宅及び店舗兼用住宅であり、漏水修理依頼書の提出があった場合、宅内漏水修理における市の費用負担をメーターボックスまでに拡大した。
管網解析システムの活用	水道管布設工事の設計時において、断水、通水時の水流方向及び圧力等の変化を解析システムにより解析し、安全・安定給水に有効活用した。
給水台帳管理システムの更新	水道工務課で管理する給水台帳管理システムに、水道業務課で管理する水栓番号、料金データーを反映させる作業を行った。

ク 危機管理対策事業

現状に即した危機管理計画の見直し	新型インフルエンザが発生した場合、厚生労働省から水道事業職員へ優先的にワクチンが配布される登録を行った。
災害復旧訓練の実施	11月16日に飯能市が加入している利根川・荒川水系連絡協議会の伝達訓練に参加した。

ケ 人材育成事業

研修体制の充実	平成30年度は、日本水道協会主催の研修に4人、横浜ウォーター主催の研修に4人、埼玉県主催の研修を受講し、技術と知識の向上を図った。
---------	---

コ 官民連携推進事業

漏水等修繕業務の委託化	公道上の漏水修理委託について飯能市水道事業協同組合と協定を結び、平成30年4月1日から24時間の全面委託となった。
-------------	---

サ 水道水源保全事業

水道サポーター事業の実施	平成30年度は、水道サポーター事業として7月21日に有間ダム見学を実施し、9組27人(保護者15人、子ども12人)の参加があった。水道水とダムの湧き水を使用して塩素反応実験を行った。
--------------	---

シ 利用者サービス向上事業

包括業務委託の実施	検針業務、収納業務、料金窓口業務等に給水窓口・検査業務を追加し包括業務委託とした。
-----------	---

ス 水道広報事業

広報、ホームページへの掲載	水道週間、水道サポーター事業、水道ポスター事業のほか、水質検査結果、漏水に関するお知らせ等について、情報を更新した。
---------------	--